

令和3（2021）年度入学試験問題出題のねらい・解答例 （学校推薦型選抜）

中村学園大学短期大学部〔幼児保育学科〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

今年度の課題文は、病気の為幼い娘を残して亡くならざるをえなかった母が、将来の娘へ伝えたいことを綴った手記から取り上げた。成長の過程で経験するであろう様々な人間関係について書かれた部分であり、人間関係、命、子どもを思う母の気持ちが著されている。本文の内容を踏まえて自らの考えを論理的にまとめ表現する力を見ることを目的とした。

〈各設問の講評〉

設問一は、昨年同様、課題文中の文脈に即して、正しい漢字を書き取る問題である。全体的に正答率は高かったが、②の「慢」は、旁（つくり）部分「四」の下にワ冠をつける間違いが多くみられ、③の「避」もやや正答率が低かった。

設問二は、本文中から抜き出す問題である。比較的平易であったと思われるが、「抜き出さない」という問題文の指示を見落とし、本文の表現を少し変えたり、自分の言葉に書き換えたりした誤答もみられた。

正答例：言われて傷ついた人はずっと忘れられずに残ることがあるから。(29字)

設問三は、課題文を踏まえ自らの考えをまとめ記述する問題である。自分の考えを論理的にまとめ、400字以内で他者に分かりやすく表現できているかを中心に評価した。多くの受験生は制限字数に過不足なく自身の考えを記述できていたが、一部、字数不足や本文の引用が長すぎるもの、また、段落がなくまとまりに欠ける解答も見受けられた。自らの考えを分かりやすく伝えることができるよう、日頃から読書等で文章に触れ、文章構成力と表現力を身に付けることを心がけて欲しい。